

# セルリーかわら版 Vol.4

令和7年2月26日  
諏訪農業農村支援センター

昨年10月30日付けで、ユニフォーム粒剤がセルリーに適用拡大となりました。使用方法を厳守いただき、適正使用をお願いします。

適用病害虫の範囲及び使用方法（抜粋）

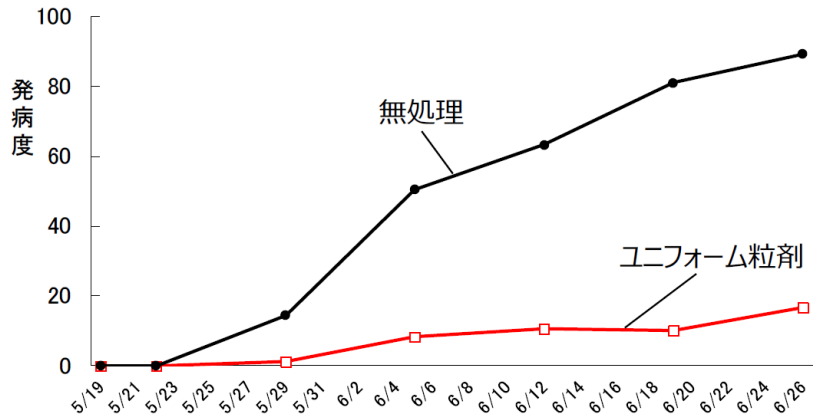
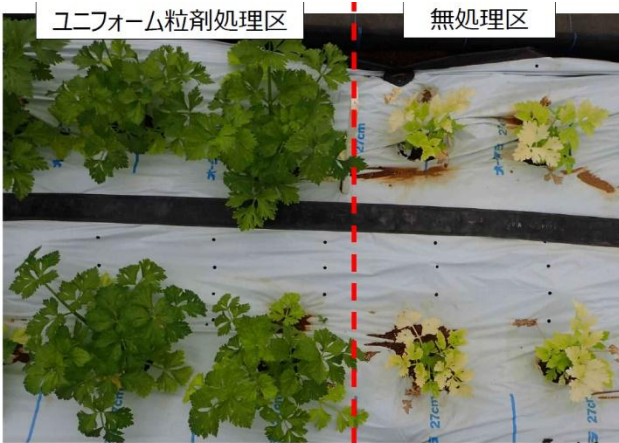
作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用方法	本剤の使用回数※	使用方法
セルリー	疫病	2g/株	定植時	1回	株元散布

※アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数：5回以内（粒剤1回以内、水和剤は4回以内）、

メタラキシルMを含む農薬の総使用回数：1回

（注意事項）セルリーに定植時株元散布する場合、定植2か月後まで葉縁がさび状に枯れ込む症状を生じる場合があるが、その後の生育には影響はなく、収穫葉には進展しない。

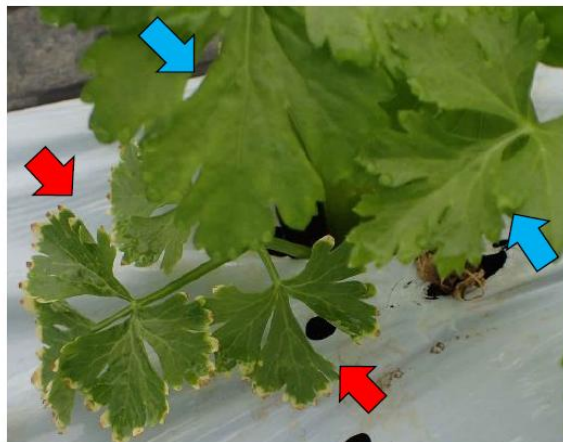
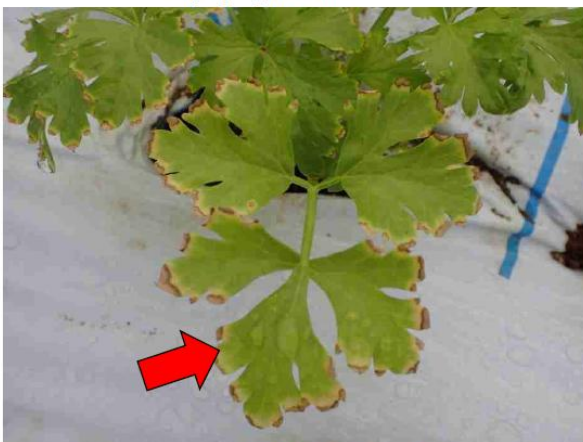
**ユニフォーム粒剤の適正な処理で、疫病の発生を低く抑えることができます**



定植（薬剤処理）24日後 6月12日

※野菜花き試験場（2023年試験）より

**薬害が生じる場合がありますが収穫葉には進展しません**  
薬害症状



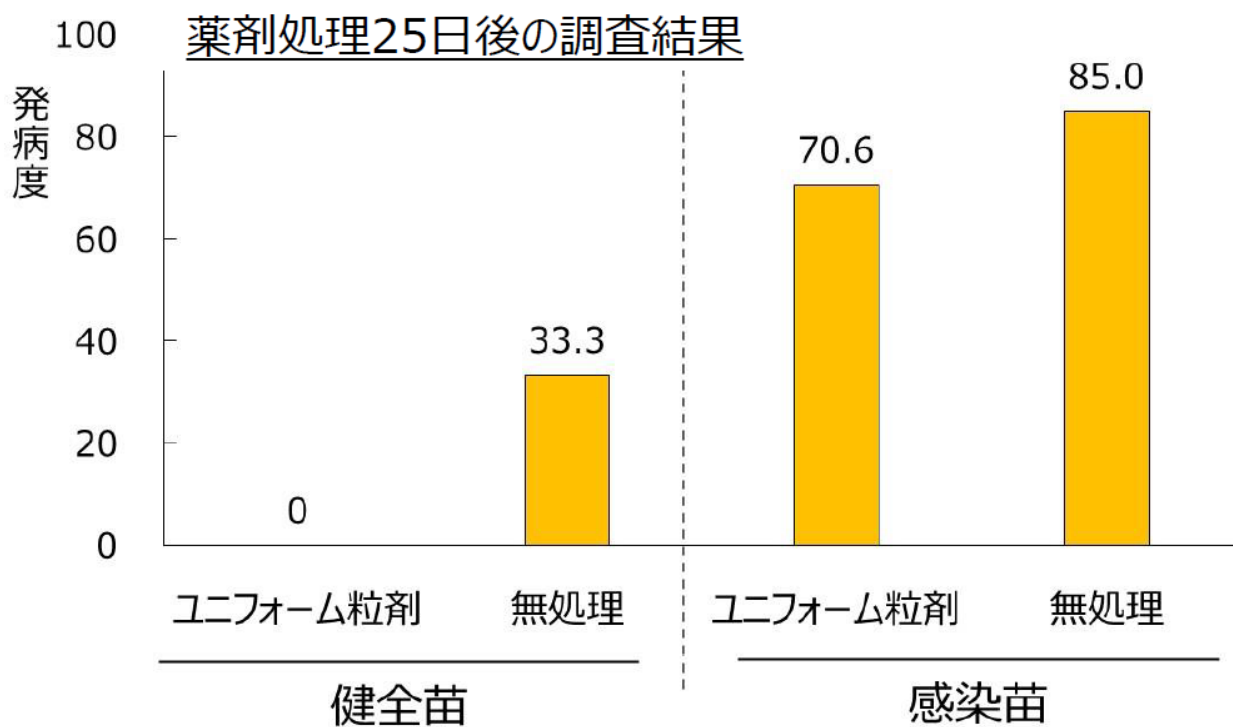
ユニフォーム粒剤処理10日後

ユニフォーム粒剤処理28日後

ユニフォーム粒剤を処理して、概ね7日後から葉縁がさび状に枯れ込む薬害症状がみられたが、生育には影響がなく、それ以降に展開した葉には症状が認められなかった

※野菜花き試験場（2023年試験）より

感染苗の場合、十分な防除効果が得られません



※野菜花き試験場（2024年試験）より